

果樹園の下草管理による土着天敵の保護と利用

秋田県果樹試験場 舟山 健



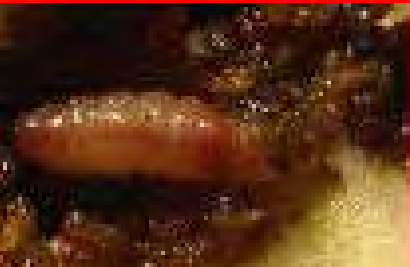
秋田県南部におけるリンゴの生態(品種‘ふじ’)



モモシンクイガ *Carposina sasakii*
(チョウ目シンクイガ科)



成虫



幼虫



リンゴコカクモンハマキ *Adoxophyes orana fasciata*
(チョウ目ハマキガ科)



成虫



幼虫



キンモンホソガ *Phyllonorycter ringoniella* (チョウ目ホソガ科)



成虫



幼虫



ユキヤナギアブラムシ *Aphis spiraeicola*
(カメムシ目アブラムシ科)



クサギカメムシ *Halyomorpha halys*
(カメムシ目カメムシ科)





スピードスプレーヤーによる殺虫剤散布

2016年度リンゴ薬剤散布計画の一例(秋田県横手市)

散布時期	殺虫剤	対象害虫
芽出し前	トモノールS	カイガラムシ類, リンゴハダニ
開花直前	アタブロンSC	ハマキムシ類, ケムシ類
落花直後	エルサン水和剤	ハマキムシ類, ケムシ類, カメムシ類
落花10日後		
落花25日後	モスピラン顆粒水溶剤	キンモンホソガ, アブラムシ類, モモシンクイガ, カメムシ類
6月下旬	ダーズバンDF	ハマキムシ類, モモシンクイガ
7月上旬	バイスロイドEW ダニコングフロアブル	モモシンクイガ ハダニ類
7月下旬		
8月上旬	スカウトフロアブル コロマイト乳剤	モモシンクイガ ハダニ類



ナミハダニ *Tetranychus urticae*



リンゴ園では殺ダニ剤散布でハダニを防除



薬剤抵抗性の発達によって殺ダニ剤が効かない

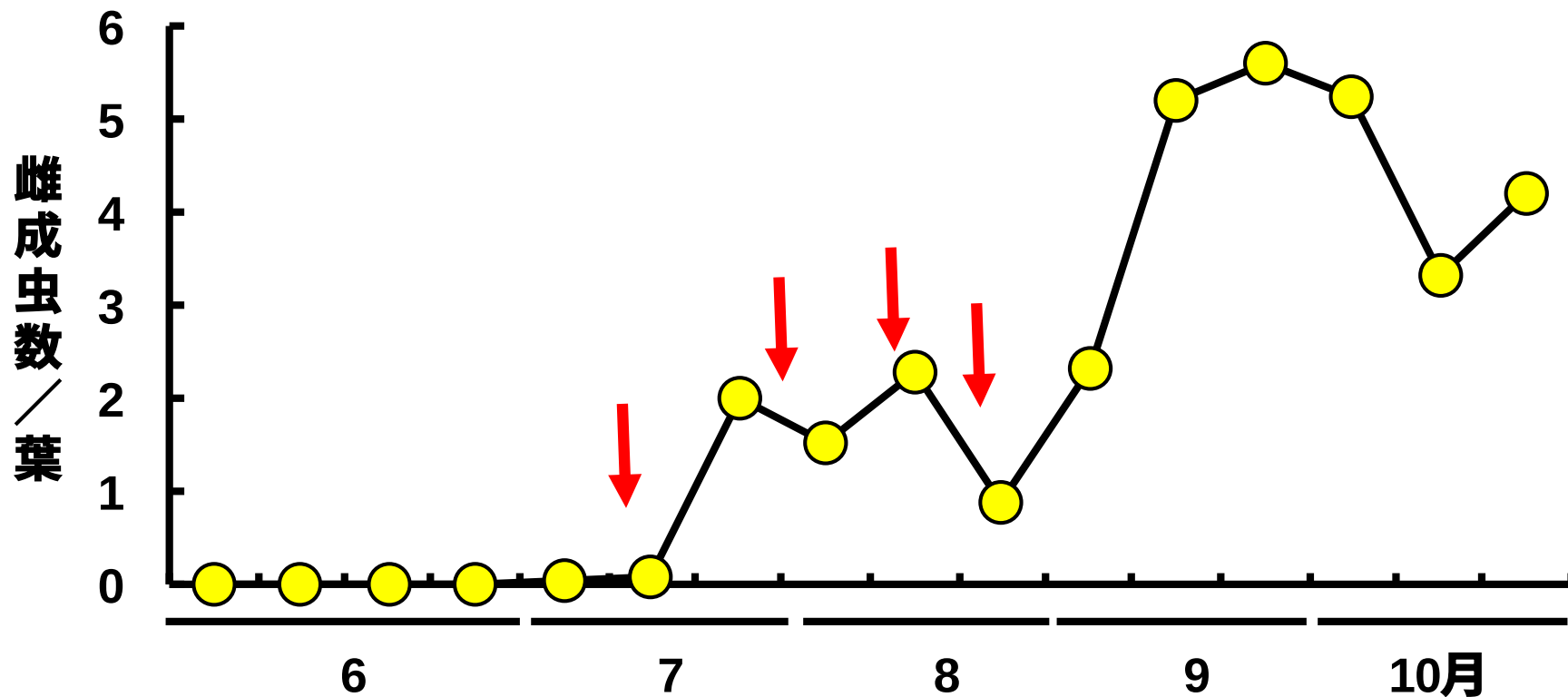


図1 効力低下した殺ダニ剤散布後のナミハダニ発生消長 (2007年)
矢印は殺ダニ剤散布.

殺ダニ剤に対する感受性の早期低下

表 ナミハダニに対する殺ダニ剤の防除効果
(平成27年度秋田県防除基準より)

薬剤名	防除効果
ピラニカ水和剤	●
サンマイト水和剤	●
オマイト水和剤	○
コロマイト乳剤	○
バロックフロアブル	●
カネマイトフロアブル	●
マイトコーネフロアブル	●
コテツフロアブル	●
ダニサラバフロアブル	●
ダニゲッターフロアブル	○
スターマイトフロアブル	○

○：防除対象とする ●：効力の低下が認められる